



「乗合タクシー」見直し案の協議から

このたび生活交通確保検討委員会（委員長：自治会長）を立ち上げました。自動車中心の社会の中で、高齢者や子どもなど交通弱者が地域で安心して暮らせるための基盤となる、米里地区に合った移動手段を検討しようというものです。

8月3日の第1回会合の際、日本交通㈱の担当者から説明された「乗合タクシー米里線」の見直し案を中心に意見交換を行いました。この案は、今年3月に乗合タクシー米里線の利便性を高めるよう項目を例示した要望書を提出していましたが、その後、社内で実現性等を検討されていたものです。現時点での見直し案は、以下のとおりです。



- ①朝と夕方の1便ずつ、中学校の登下校時刻に合わせた定時・定路線運行とする。
- ②西大路停留所から桜ヶ丘中やイナカ内科方面へと運行経路を変更する（市立病院停留所は廃止）。
- ③久末停留所から古郡家地内に入り、停留所（森福寺周辺）を新設する。

こうした見直しでも利用者が増えなければ、いよいよ廃止も現実味を帯びてます。乗合タクシーを知らないという人も未だ少なくありません。今は自分や家族が安全に運転でき必要性を感じなくても、廃止されてから後で「残しておけばよかった」とならないように、マイカーを使う代わりに試しに利用してみるのがいいかもしれません。あるいは、別の手段を考えておくことも必要かもしれません。

なお、委員会では、乗合タクシーだけでなく、それ以外の手段を含め、地区全体での方策を検討し、何らかの方向性を出したいと考えています。ご意見、ご要望などがございましたら、委員へお知らせください。

（委員） 福田自治会長、田中区长部会長（美和）、堀公民館長（中大路）、武田政信（越路）、山根眞一（古郡家）
石黒敬一（雲山南）、山根良夫（雲山南）（以上、敬称略）

将来の米里小学校と米里地区を考える

7月30日（土）、米里小学校体育館にて、鳥取市立学校適正規模適正配置基本方針策定について米里地区での説明会を開催し、市教育委員会の担当者2名の方に説明していただきました。参加された方からは、「実感はわかないが今後の米里小学校、米里地区を考えるとしっかり対応していかないといけないとは思いました」などの意見をいただきました。

私の任務は、老若男女、より多くの米里地区の方々にこの基本方針の意味を知っていただくことです。よく言われるのは、「統廃合の話でしょ？」ですが、そうではございません。今一度、説明会を受けたという各地区・町区や各種団体様は是非とも米里小学校教育後援会事務局（担当：米里小教頭）までお知らせいただきますようお願いいたします。（米里小学校教育後援会 会長 山田晃裕）



町内会より ～ 長砂町内会 お地蔵さん ～

長砂町内会では、7月23日（土）に『お地蔵さん』（他の地域では「地蔵祭り」ともいう）を開催しました。子どもの守り神とされるお地蔵様をお祀りすることで、子どもの幸せや健康を願う年中行事の一つとなっています。（*長砂のお地蔵様は、別名『いぼ取り地蔵』とも言われており、現在でもお参りされる方が多いようです。）私の知る限りでは、長砂の『お地蔵さん』は、70年以上前より行われている伝統の行事のようです。

『お地蔵さん』の日には、子どもたちだけでお地蔵様を洗い清めて、お花（子どもたちが各家を回って集めます）とお菓子を供えます。『お地蔵さん』の主演はあくまでも子どもたちですが、長砂町内では大人たちも輪の中に加わり、自分たちの子供時代を思い出しながら子どもたちの無病息災を祈願します。その後、お地蔵様の近くでゲーム（スイカ割り、スーパーボールすくい、金魚すくいなど）や花火をします。（昔、子どもの多かったころは、各家庭で料理を持ち寄り、それを食べながら子どもたちがお地蔵様の前で歌ったり、踊ったりするのを楽しんで観ていたようです。）また、大人たちで作った手造り窯で焼いた手作りピザを食べ楽しく過ごしました。町内における貴重なコミュニケーションの機会にもなっています。（新型コロナ感染拡大防止の観点から開催自粛等も考えましたが、感染拡大防止の配慮をした中での開催としました。）（神戸一郎 長砂町内会役員）



戦没者慰霊祭で平和を考える

終戦から77年となる8月15日（月）、米里地区公民館大広間にて、社会福祉協議会主催による令和4年度米里地区戦没者慰霊祭が、遺族会11名、来賓6名と開催規模を縮小し、執り行われました。

式典後には、慰霊塔にお参りし、日清戦争から先の大戦までの米里地区出身戦没者120名を追悼するとともに、今なお戦下であり、苦難を強いられている国や地域の人々へ思いを馳せ、改めて平和の大切さについて考えました。

